

成果報告 1 : 海洋教育のデザイン

1. 学校名 : 阪南市立舞小学校
2. 活動名 : アマモから考える海の環境学習
3. 実践の概要・ねらい

阪南市立舞小学校は運動場には山の一部やアスレチックがあり、校舎から大阪湾を望むことができる豊かな自然に囲まれた場所にある。冬になると、大阪湾で唯一行われているという海苔の養殖の様子を見ることがもできる。そのような自然に恵まれた環境にある子どもたちだが、環境問題について関心が低いのが現状である。特に海の環境問題に関しては、海はそんなに汚れていなくて問題はないという認識を持っている子が多い。

そこで、「アマモ」という海草を題材に、今大阪湾で起こっている環境問題と向き合い、自分たちが海の生き物を守るためにできることを考える学習を行った。漁業や環境問題に携わる NPO の方々の協力を仰ぎ、体験的な活動を繰り返し行うことで、海の環境について興味を持ち、自分たちにとって身近な問題であることを実感させたい。また、自分たちでアマモを育てて植えるなど、環境保全のための取り組みを実際に行うことで、その場だけの学習にとどまらないようにしたい。「アマモ」の学習から身近な環境問題へと学習の幅を広げ、自分たちの日常生活に生かしたり、地域や家庭に環境を守るための取り組みを発信したりするなど、具体的な行動につながることを期待している。

目標

- ①「アマモ」から、「大阪湾」の環境について学ぶ
- ②アマモ場にいる海の生き物にふれることで、アマモのすばらしさや大切さに気づき、海の環境を守っていかうという気持ちを持つ
- ③「アマモ」を育てて植えるなど、海の環境保全の為の実際の取り組みを行う
- ④海の環境問題について自分たちで課題を持ち、調べたりまとめたりすることで、海の生き物を守ることの大切さを周りの人に伝える

4. 実践計画

| | テーマ・概要 | 活動計画 | 教科等の関連 | 実践の評価 |
|----|--------------|------------------------|--------|----------------------|
| 1年 | 海の生き物について知ろう | ちりめんモンスターを探そう (10月) | 生活科 | ・楽しみながら海の生き物の分類ができる。 |
| 2年 | 海の生き物について知ろう | ちりめんモンスターを探そう (10月) | 生活科 | ・楽しみながら海の生き物の分類ができる。 |

| | | | | |
|----|----------------------|---|----------------------|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・大阪湾の海の生き物について知ることができる |
| 3年 | 海藻についてくわしく学ぼう | 海藻おしばをつくろう (10月) | 総合的な学習の時間 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・海藻の役割や種類について知ることができる ・海藻の特徴を活かして作品をつくることができる。 |
| 4年 | アマモ場にいる海の生き物にふれよう | 海の生き物観察 地引き網体験 (6月) | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら海の生き物にふれることができる。 ・アマモ場が海の生き物にとって大切な場所であることに気付く。 |
| 5年 | アマモから、大阪湾についてくわしく学ぼう | <ul style="list-style-type: none"> ・アマモについて詳しく知ろう (9月) ・大阪府水産試験場の見学 (10月) ・アマモの種を西鳥取の海に植えよう (11月) ・環境問題を詳しく調べて、お家の人に伝えよう (11月) ・6年生からもらったアマモの種を自分たちで育てよう (11月～6年の6月) ・海苔すき体験 (2月) | 総合的な学習の時間 社会科 | <ul style="list-style-type: none"> ・アマモが海の環境によい影響を与えることを知る。 ・大阪湾の状況をくわしく知る ・様々な環境問題に興味関心を持って調べている。 ・アマモの世話を進んで行く。 ・海苔の養殖についてくわしく学び、海苔すき体験を楽しみ |

| | | | | |
|----|--------------------|--|-----------|---|
| | | | | <p>ながらすることが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の漁業についてくわしく学ぶ。 |
| 6年 | 大阪湾の生き物を守るためにとりくもう | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの育てたアマモを海に植えよう (5月) ・アマモから種を取ろう (6月) ・海の生き物観察・地引き網体験 (6月) ・アマモの種子選別 (9月) ・全国アマモサミットで自分たちの取り組みを伝える (11月) | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら海の生き物にふれることができる。 ・アマモ場が海の生き物にとって大切な場所であることに気付く ・これまで学習したことをまとめ、環境保全のための自分の考えを周りの人に伝えることができる。 |

5. 今年度の実践

① 計画からの追加・変更点 なし

② 実践の成果

- ・各学年に応じて環境学習を行うことができ、単発で終わるのではなく、各学年にまたがって継続的な学習体系を作ることができた。
- ・たくさんのゲストティーチャーの方が関わってくれたので、より専門的で興味深いお話を聞くことができた。また、体験的な活動が数多くあるので、子どもたちも興味関心を持って学習することができた。
- ・アマモを実際に自分たちで育て、それを下級生に引き継ぐことで、多くの子がアマモの成長に関心を持つことができた。その結果、水替えや成長記録の作成、調べ学習など意欲的に行う児童が増え、学校全体でアマモを育てていこうという気運が高まった。
- ・6年生が「全国アマモサミット」で発表することが決まり、児童集会でも全校生徒に「アマモの素晴らしさ」や「大阪湾の環境問題」について発表し、自分たちの取り組みを学校全体に発信することができた。また、PTA 新聞にも学校全体の環境学習の取り組みが一面で掲載され、地域や阪南市全体に舞小学校の取り組みを伝えることができた。

③ 次年度への課題

学校全体で「アマモ」を中心とした学習を推進し、子どもたちの環境への意識を高めることができた。今後は身近な環境問題について自分たちができることを考えたり、具体的な取り組みを実施したりすることが課題になる。来年度アマモを通じた環境学習を計画的に進めていく中で、子どもたちが環境問題を自分たちの問題であると捉えること、そして具体的な環境改善の取り組みを実施していきたい。

高学年 「アマモ」から考える海の環境学習

実践のねらい

阪南市立舞小学校は運動場には山の一部やアスレチックがあり、校舎から大阪湾を望むことができる豊かな自然に囲まれた場所にある。冬になると、大阪湾で唯一行われているという海苔の養殖の様子を見ることが出来る。そのような自然に恵まれた環境にある子どもたちだが、環境問題について関心が低いのが現状である。特に海の環境問題に関しては、海はそんなに汚れていないという認識を持っている子が多い。

そこで、「アマモ」という海草を題材に、今大阪湾で起こっている環境問題と向き合い、自分たちが海の生き物を守るためにできることを考える学習を行った。漁業や環境問題に携わる NPO の方々の協力を仰ぎ、体験的な活動を繰り返し行うことで、海の環境について興味を持ち、自分たちにとって身近な問題であることを実感させたい。また、自分たちでアマモを育てて植えるなど、環境保全のための取り組みを実際に行うことで、その場だけの学習にとどまらないようにしたい。「アマモ」の学習から身近な環境問題へと学習の幅を広げ、自分たちの日常生活に生かしたり、地域や家庭に環境を守るための取り組みを発信したりするなど、具体的な行動につながることを期待している。

●時数 5年生9月～6年生9月 36時間（総合的な学習の時間28 社会科8）

●関連 社会科

●目標 ①「アマモ」から、「大阪湾」の環境について学ぶ

②海の生き物にふれることで、アマモ場のすばらしさや大切さに気付き、海の環境を守っていかうという気持ちを持つ

③「アマモ」を育てて植えるなど、海の環境保全の為の実際的な取り組みを行う

④海の環境問題について自分たちで課題を持ち、調べたりまとめたりすることで、海の生き物を守ることの大切さを周りの人に伝える

【主な連携機関と内容】

- ・大阪府水産技術センター：社会見学
- ・西鳥取漁協：海苔すき体験
- ・NPO 法人大阪湾岸域環境創造研究センター
- ・アマモ学習 全国アマモサミット

